

2013年3月期(第17期)
第2四半期 決算説明会資料

(2012年7月～9月)

2012年11月13日

日本通信株式会社

I. はじめに

(代表取締役社長 三田 聖二)

II. 第2四半期決算の概要

(代表取締役副社長 CFO 福田 尚久)

III. 今後の取り組み

(同上)

<ご注意>

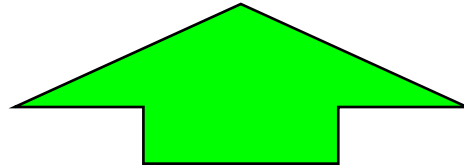
本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

代表取締役社長

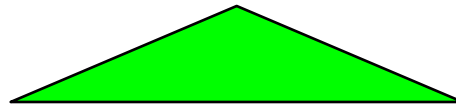
三田 聖二

8四半期連続黒字



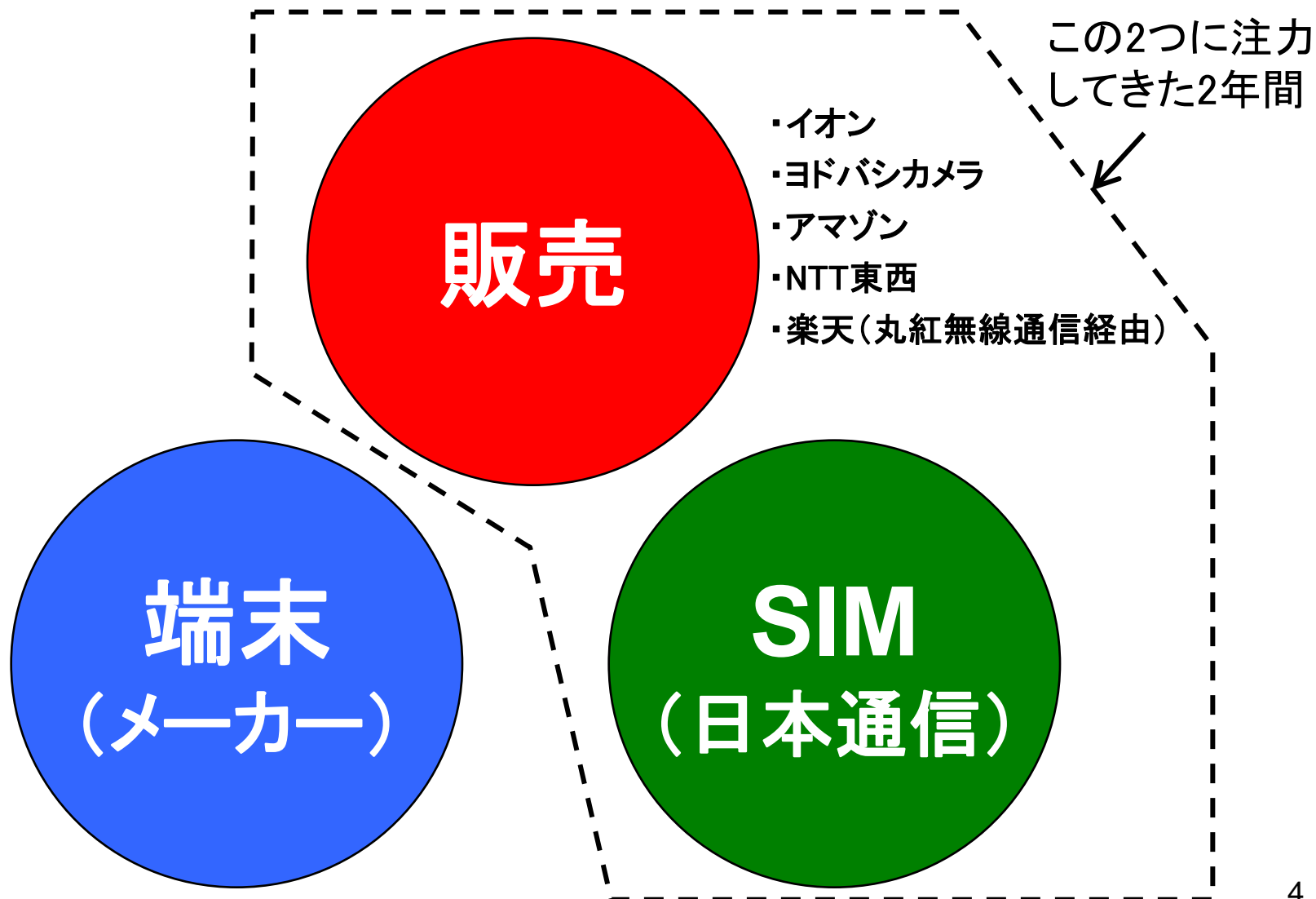
一言でいえば「SIM事業」の成功

- ・膨大な数のSIM商品ラインアップを開発・提供
- ・SIMの販売パートナーを開拓



「クルー制度による人財活用」が下支え

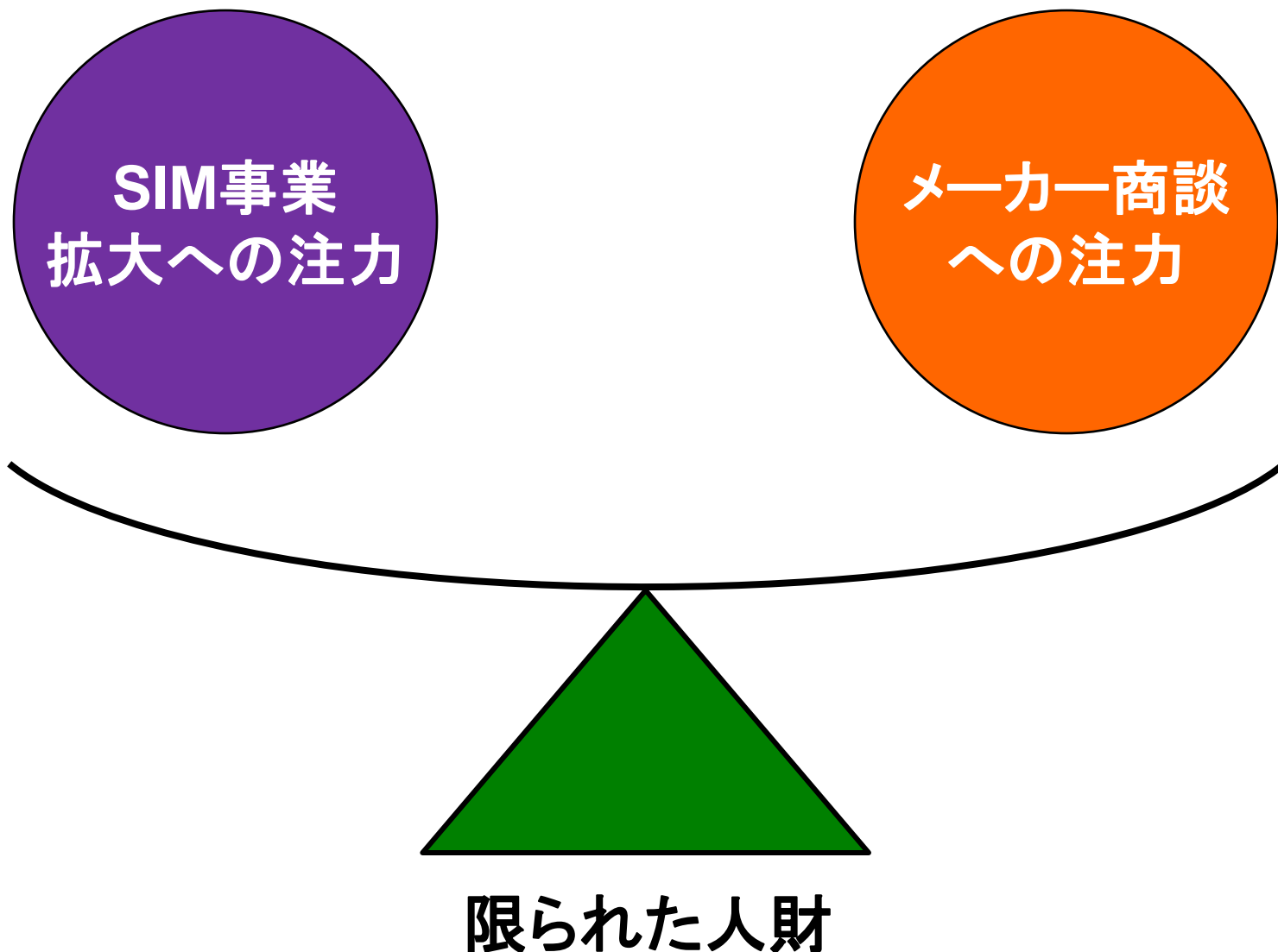
顧客



メーカー商談が本格化

今夏以降の具体的案件だけでも

- ・国内スマートフォンメーカー（例：NEC）
- ・海外スマートフォンメーカー
- ・企業向けIP電話の最大手メーカー
- ・海外タブレットメーカー（例：レノボ）
- ・国内カメラメーカー
- ・国内ビデオカメラメーカー
- ・電子書籍メーカー
- ・国内POSメーカー
- ・海外ルーターメーカー
- ・国内家電メーカー

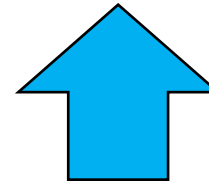


これからの2年間

SIM事業の収益を
ベースに、先行投資
ただし、黒字は継続

- メーカー向けにSIMを含むソリューションを 開発・提供
- 「フルIPモバイル・ソリューション」市場を生み出す

これまでの2年間



- SIMロック解除
- SIMパートナー向けにSIM商品を開発・提供
- SIM市場を生み出した

第2四半期決算の概要

代表取締役副社長
CFO

福田 尚久

第2四半期 実績(連結)

単位:百万円	Q2 13/3期		前四半期			前年同期				
			Q1 13/3期		Q to Q	Q2 12/3期		Y to Y		
売上高	967	100.0%	923	100.0%	43	4.7%	896	100.0%	71	7.9%
うち国内SIM事業	794	82.0%	737	79.9%	56	7.6%	691	77.2%	102	14.8%
売上原価	530	54.8%	529	57.3%	1	0.3%	556	62.1%	▲ 25	▲4.6%
売上総利益	437	45.2%	394	42.7%	42	10.7%	340	37.9%	96	28.5%
差引売上総利益	447	46.3%	426	46.1%	21	5.1%	384	42.8%	63	16.6%
販売費及び一般管理費	369	38.2%	352	38.2%	16	4.7%	294	32.8%	75	25.5%
営業利益	78	8.1%	73	7.9%	5	7.0%	89	10.0%	▲ 11	▲12.6%
経常利益	66	6.9%	49	5.3%	17	34.8%	68	7.7%	▲ 2	▲3.1%
当四半期純利益 ^{*1}	45	4.7%	47	5.1%	▲ 2	▲4.6%	83	9.3%	▲ 38	▲46.1%
EBITDA ^{*2}	153	15.8%	97	10.6%	55	56.6%	114	12.8%	38	33.6%
キャッシュ保有高	2,416	249.7%	2,168	234.7%	248	11.5%	1,675	186.9%	741	44.2%

*1 オフィス移転に伴う特別損失14百万円の影響を含む

*2 EBITDAは「販売ベースの売上に基づく利益繰延前受収益効果除去後の営業利益 + 減価償却費 + 移動端末機器除却費 + スtockオプション労務費用 + 貸倒引当金繰入額」にて計算

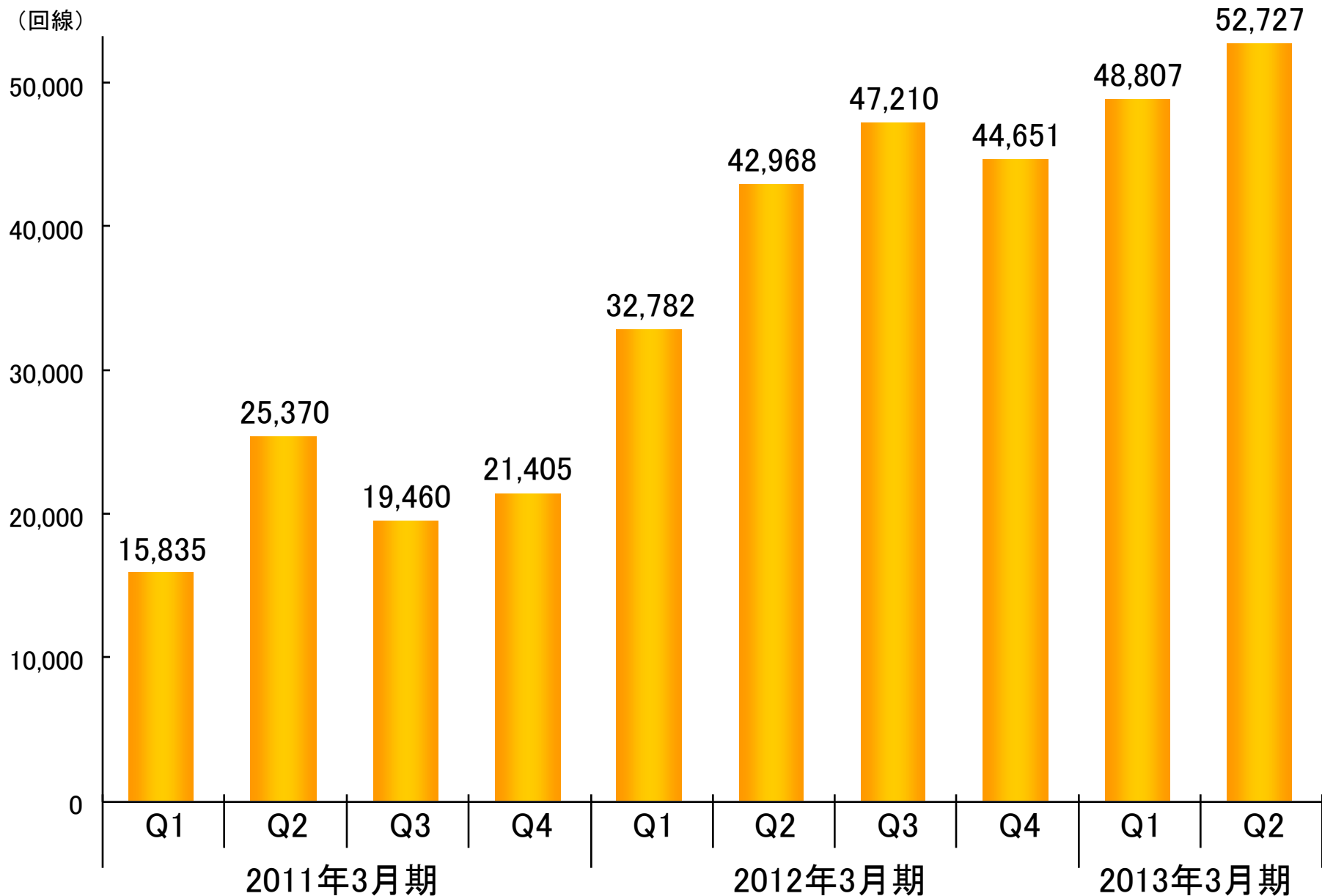
バランスシート(連結)

単位:百万円	Q2 13/3期	前四半期		前年同期	
		Q1 13/3期	Q to Q	Q2 12/3期	Y to Y
流動資産	3,847	3,593	253	2,816	1,030
現金及び預金	2,416	2,168	248	1,675	741
売掛金	538	481	57	475	63
商品等	471	517	▲ 45	467	4
繰延税金資産	314	314	▲ 0	154	159
その他流動資産	104	112	▲ 7	42	62
固定資産	1,083	985	97	966	117
有形固定資産	272	280	▲ 7	148	124
無形固定資産	647	642	5	756	▲ 109
投資その他	162	62	100	60	102
資産合計	4,930	4,579	350	3,782	1,148
流動負債	1,299	1,089	210	1,220	79
買掛金	203	357	▲ 153	138	64
前受収益	201	212	▲ 11	302	▲ 101
通信サービス繰延利益額	5	16	▲ 10	101	▲ 96
短期借入金	500	173	326	400	100
その他流動負債	389	329	60	277	112
固定負債	1,005	937	68	840	165
負債合計	2,305	2,026	279	2,061	244
純資産	2,625	2,553	71	1,721	903
負債純資産合計	4,930	4,579	350	3,782	1,148

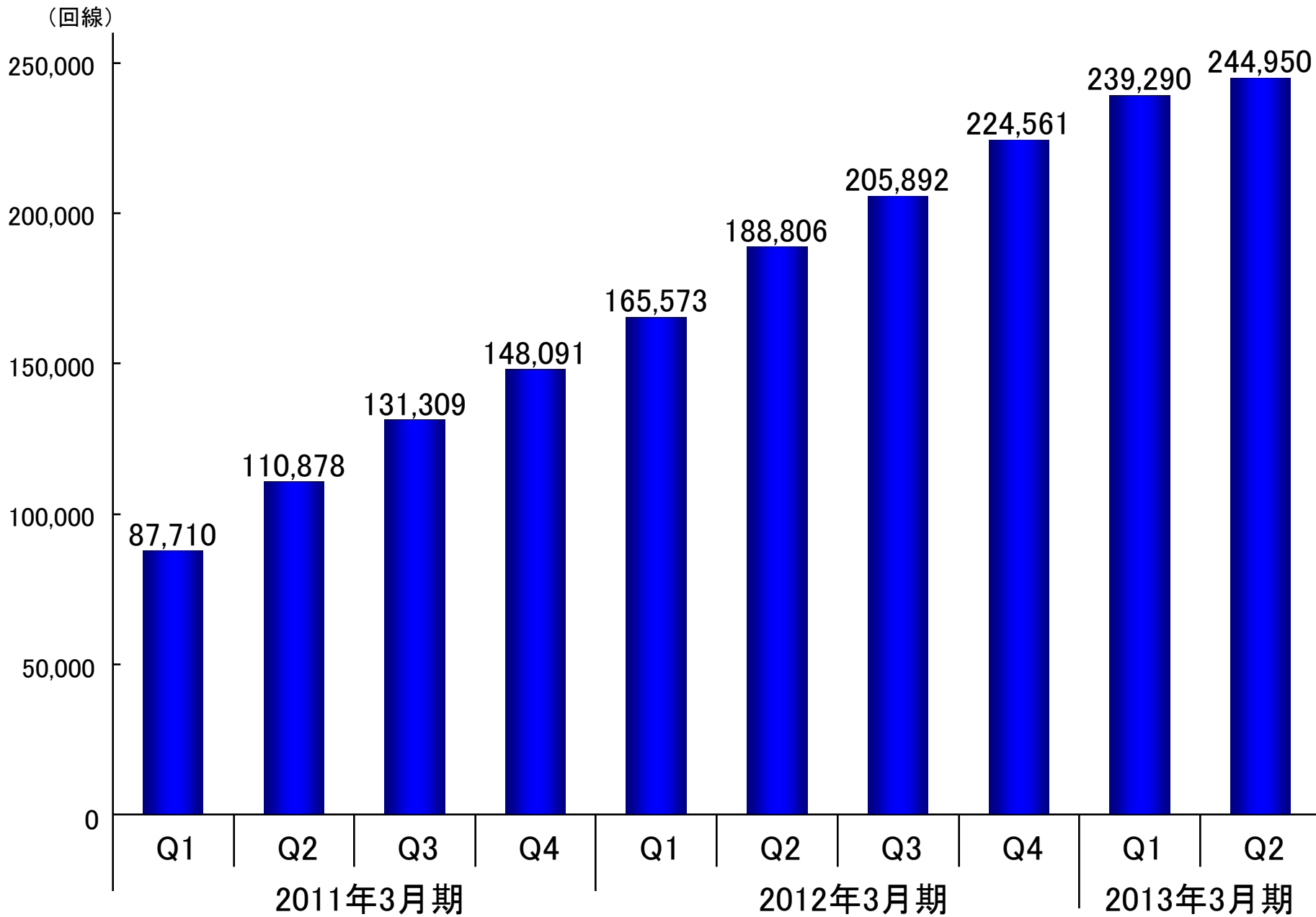
キャッシュ・フロー計算書(連結)

単位:百万円	Q2 13/3 期	前四半期		前年同期	
		Q1 13/3 期	Q to Q	Q2 12/3 期	Y to Y
営業活動による キャッシュ・フロー	1	221	▲ 219	135	▲ 134
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 149	▲ 9	▲ 140	▲ 120	▲ 29
財務活動による キャッシュ・フロー	417	▲ 197	615	296	120
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲ 0	▲ 1	0	▲ 1	1
現金及び現金同等物の 増減額	268	13	255	309	▲ 41
現金及び現金同等物の 期首残高	2,148	2,135	13	1,165	982
現金及び現金同等物の 期末残高	2,416	2,148	268	1,475	941
EBITDA	153	97	55	114	38

SIM 四半期出荷数推移



SIMのアクティブ数



Q2の主な取り組み

- VISITOR SIM (7/25)
- スマホ電話SIM (8/1)
 - ヨドバシカメラ版 (8/24)
 - アマゾン版 (8/24)
- 高速切り替え Turbo Charge (8/30)
- スマートSIM 980 Turbo (9/24)
 - ヨドバシカメラ版
 - アマゾン版
- イオン専用SIM
 - 100kbpsから150kbpsへ (10/1)
- 楽天ブロードバンドLTE (10/4)
 - 丸紅無線通信案件

- 2006年 設立
- 2008年 VPNを使用しない無線専用線PCI-DSS認定取得
(6月17日公表)
- 2008年 ATM向け契約を獲得(11月18日公表)
- 2012年 四半期ベースで黒字化(8月1日公表)
- 2012年 大手携帯事業者スプリント社へのサービス提供で
契約締結(8月29日公表)

無線専用線のM2M市場における価値

今後の取り組み

2013年3月期 通期見通し

(百万円)

	期初	11月12日修正	2012年3月期 実績
売上高	5,200	4,250	3,724
営業利益	1,040	550	310
経常利益	1,010	490	271
当期純利益	1,010	440	997*

*丸紅との合弁会社設立に関する子会社株式売却益(446百万円)及び繰延税金資産の計上(310百万円)を除いた当期純利益は241百万円

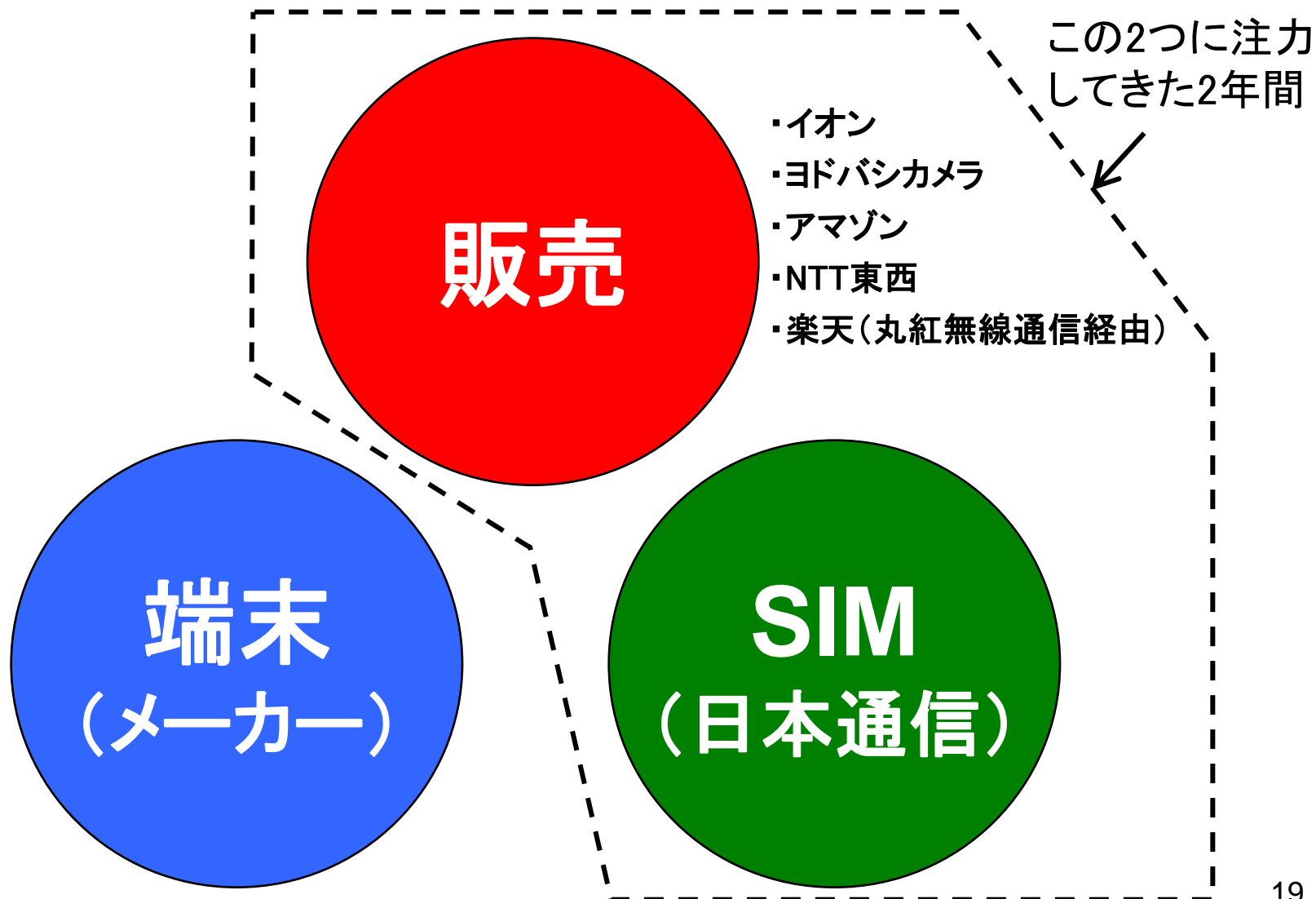
事業面

- SIM商品のラインアップを徹底拡充(67商品)
- SIMパートナーの構築

社内面

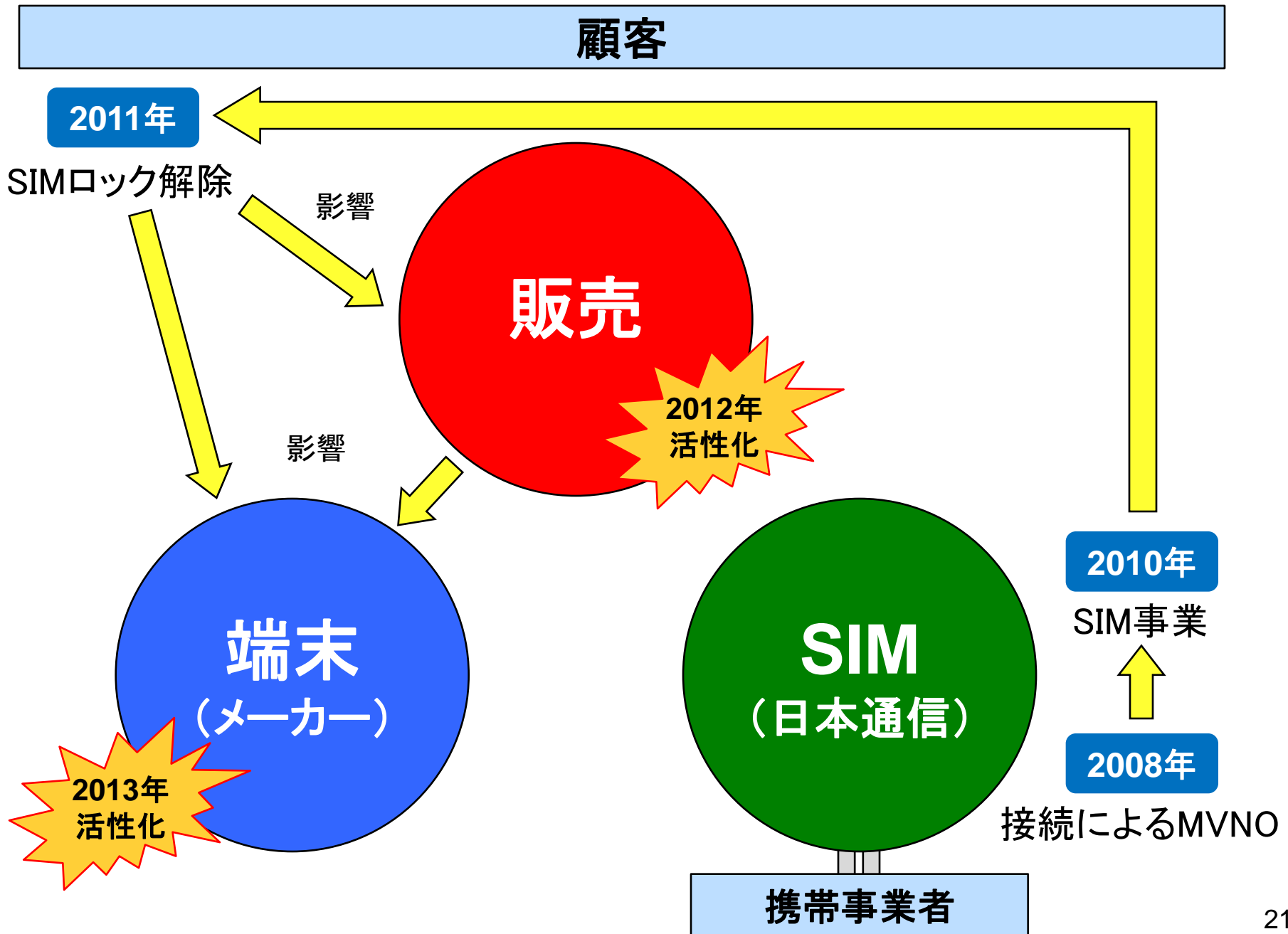
- 人事制度を改革(クルー制度を構築)
- 流通構造を改革
- 製造・物流体制を改革
- 商用コアシステムを強化
- コールセンターの戦力化(つながる、頼れる)

顧客

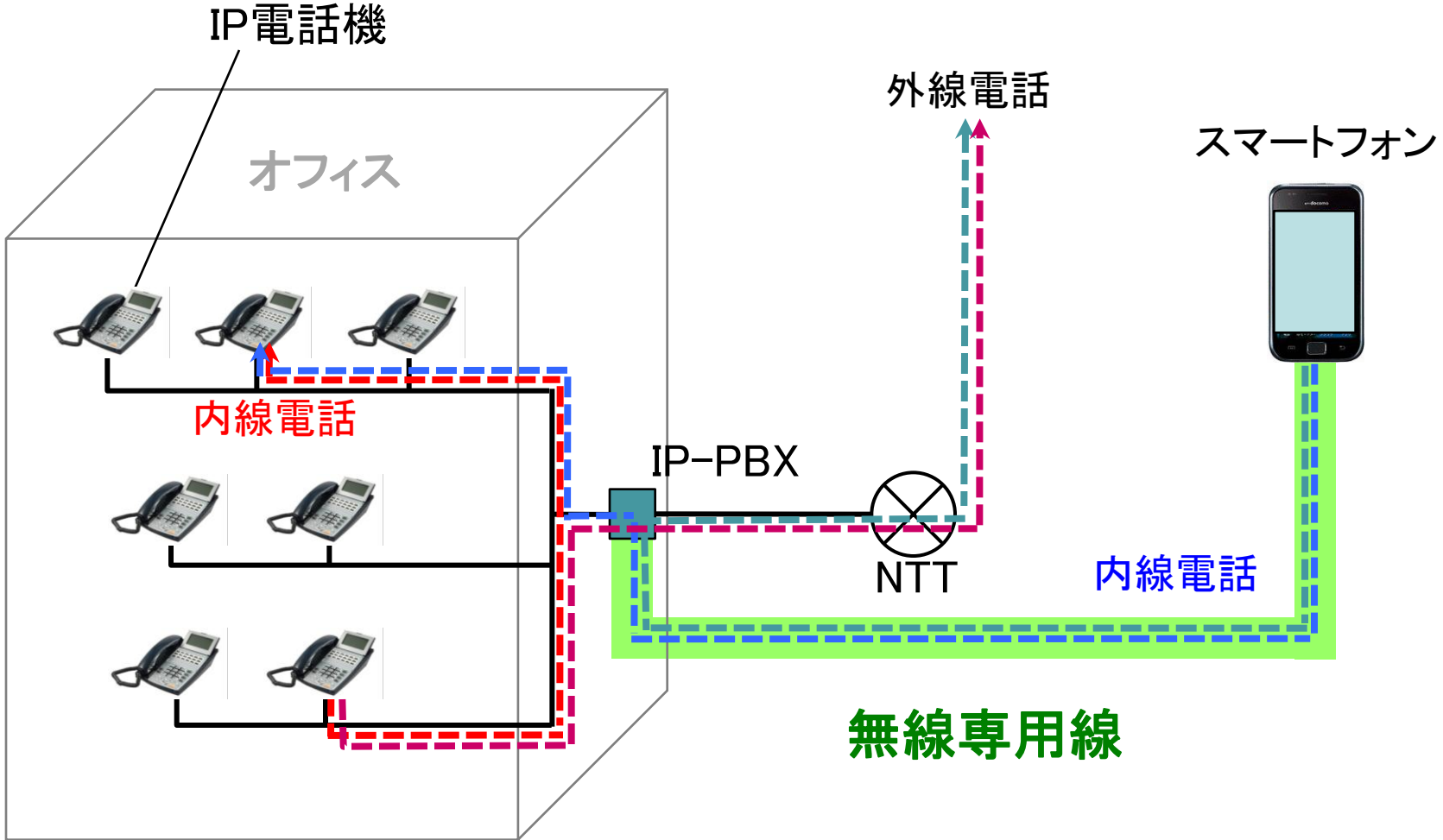


好機到来

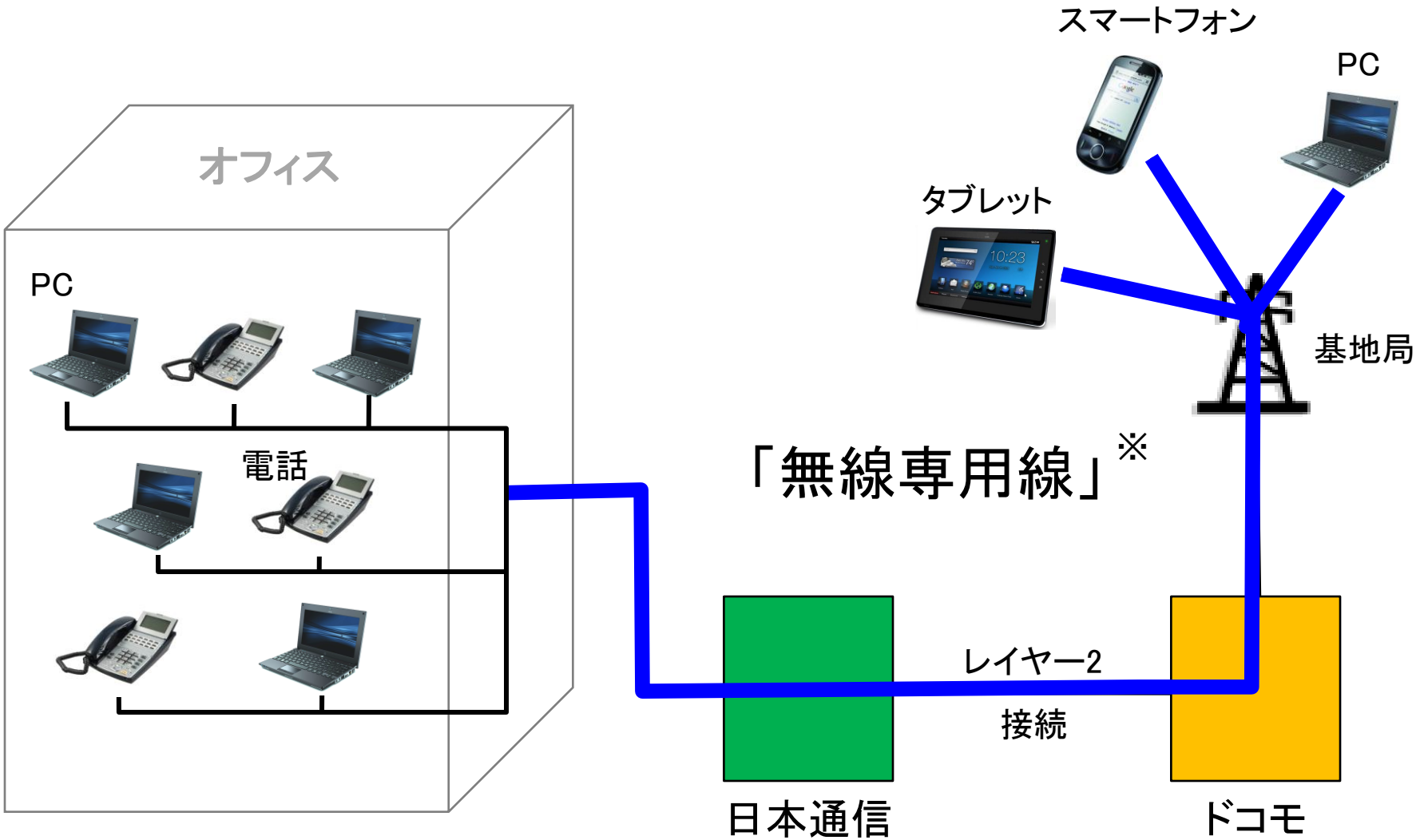
- 国内スマートフォンメーカー（例：NEC）
- 海外スマートフォンメーカー
- 企業向けIP電話の最大手メーカー
- 海外タブレットメーカー（例：レノボ）
- 国内カメラメーカー
- 国内ビデオカメラメーカー
- 電子書籍メーカー
- 国内POSメーカー
- 海外ルーターメーカー
- 国内家電メーカー



新オフィスの電話システム



スマートフォンの法人利用を推進



※日本通信の特許技術

ATM



従来

日本通信のソリューション

①有線の専用線

②無線 + VPN

PC内蔵の必要

||

- ・高価なATM
- ・既存ATMは使えない

③無線専用線

メリット

- ・VPN不要
- ・既存ATMに使用可能

M2Mにおける無線専用線の必要性

新たなソリューション開拓

ウォーターサーバー



カメラ



スマートフォン



電子書籍



タブレット



無線専用線の
適用分野

カーナビ



エアコン



健康キオスク



POS



ATM



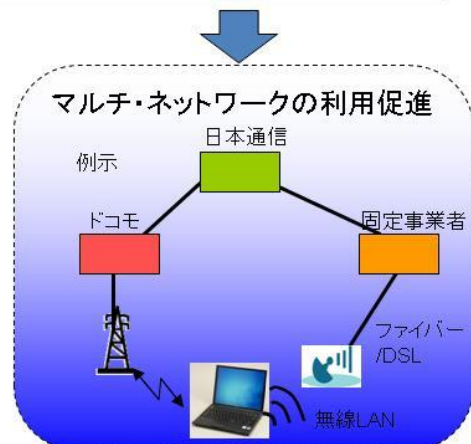
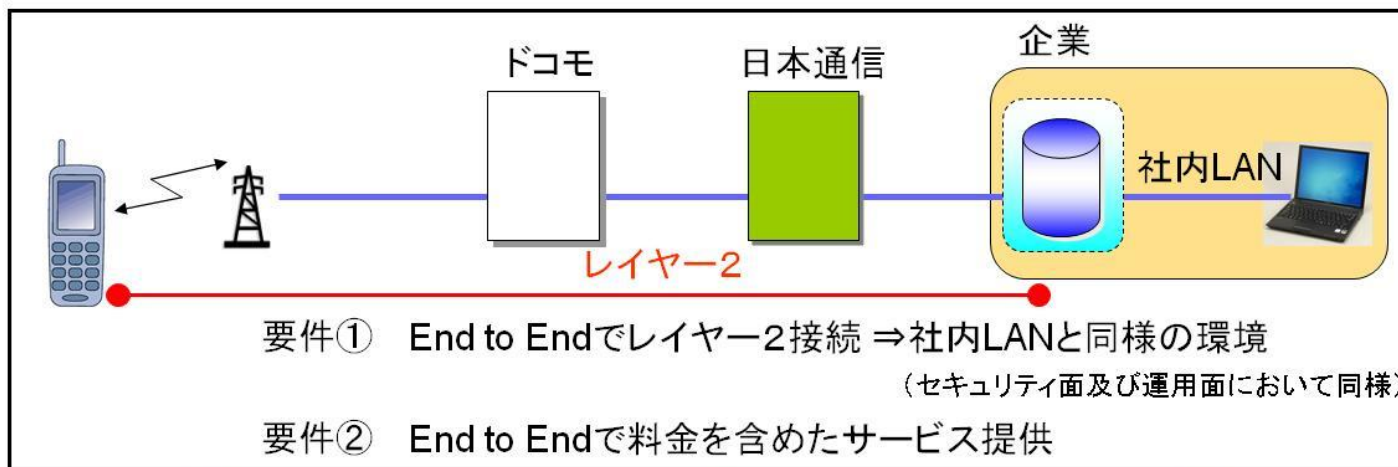
プリクラ



レイヤー2接続を求めた理由

2008年当時の紛争処理委員会宛資料

日本通信の考え方



<Confidential : 電気通信事業紛争処理委員会限り>

これからの成長市場

モバイル・ソリューション市場

- SIM内蔵製品
- M2M
- フルIP電話ソリューション、他

「市場を創る」

「日本通信の強みが活きる」

「リーダーシップを執りに行く」

目の前の市場

SIM市場

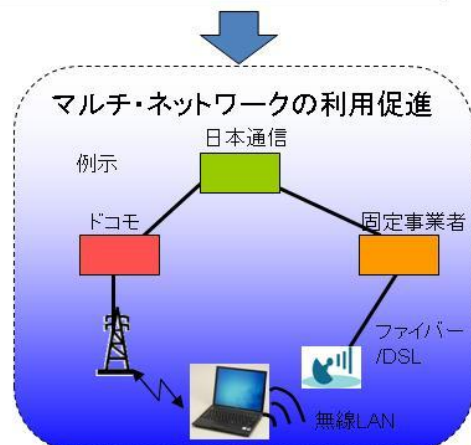
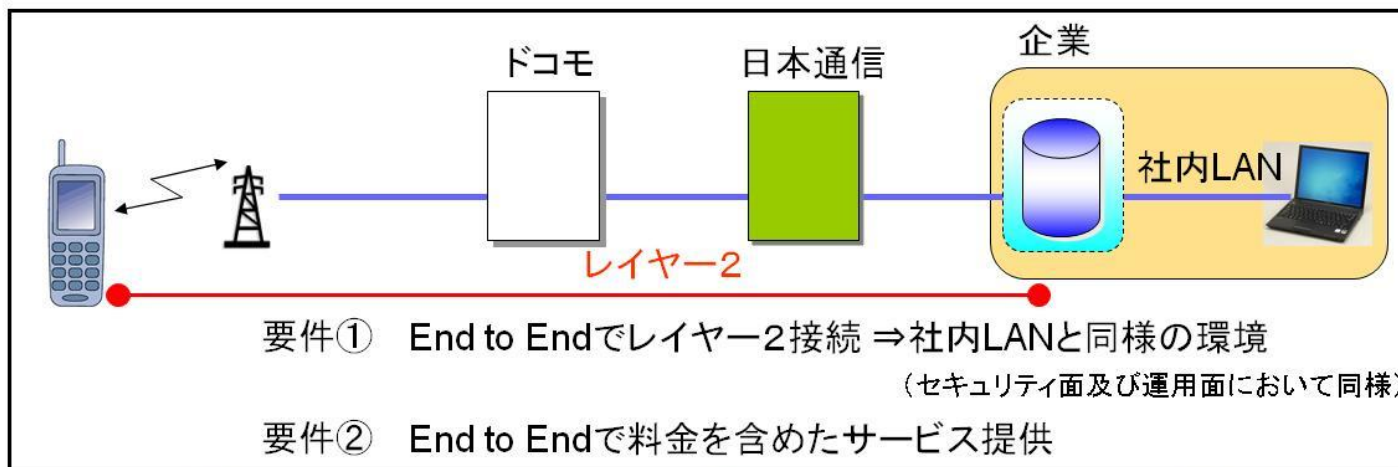
「着実な成長」

「収益源・キャッシュ源」

レイヤー2接続を求めた理由

2008年当時の紛争処理委員会宛資料

日本通信の考え方



<Confidential : 電気通信事業紛争処理委員会限り>

Q&A